

News Release

2012 年 2 月 29 日
株式会社産業革新機構

株式会社 All Nippon Entertainment Works の設立および 新 CEO、新 COO 就任のお知らせ

本日、株式会社産業革新機構（本社：東京都千代田区丸の内、代表取締役社長：能見公一、以下「INCJ」）は、株式会社 All Nippon Entertainment Works（オールニッポン・エンタテインメントワークス）の設立ならびに代表取締役 CEO（チーフエグゼクティブ・オフィサー、最高経営責任者）にサンフォード・R・クライマン（Sanford R. Climan）氏、代表取締役 COO（チーフオペレーティング・オフィサー、最高執行責任者）に黒川裕介氏が就任したことを発表いたします。

株式会社産業革新機構は、株式会社 All Nippon Entertainment Works（以下、“ANEW”）に対して 60 億円の出資を行うことを既に決定・公表しております。ANEW は、日本の魅力あるストーリー／コンテンツを素材としながら、ハリウッドスタジオや世界的な映画会社と協力して、グローバル市場をターゲットとしたエンタテインメント作品を企画開発する、世界的なエンタテインメント企業を目指します。

また、ANEW は、上記活動にあたり、本邦のコンテンツの著作権等を保有し、個別具体的な案件の企画開発を共同で推進、あるいは新会社の事業運営を様々な側面からご支援頂ける企業に、“コラボレーションパートナー”としてご参画頂くことを予定しています。現時点におけるコラボレーションパートナー企業は、下記の通りです。

アスミック・エース エンタテインメント(株)

(株)石森プロ

(株)セガトイズ

(株)タカラトミー

(株)テレビ朝日

(株)TBSテレビ

(株)電通

東宝東和(株)

日活(株)

日本テレビ放送網(株)

(株)フジテレビジョン

(株)プロダクション・アイジー

三菱商事(株)

(株)読売広告社

（順不同、五十音順）

ANEW は、上記のコラボレーションパートナー企業のほかにも、国内の様々な法人・個人との協働を図っていく所存です。

なお、ANEW は、新経営陣のもと、東京・ロスアンゼルスにおける本格的活動を 2012 年 2 月より開始しております。

<コメント>

株式会社 All Nippon Entertainment Works 最高経営責任者 サンフォード・R・クライマン

「All Nippon Entertainment Works は、グローバルなエンタテインメント市場全体をターゲットとして、国内のパートナーとハリウッドの間の架け橋となって活動したいと考えています。日本はストーリー／キャラクターの発信源として世界で最もクリエイティブな場です。ANEW は、これらのストーリー／キャラクターを、世界でトップクラスのプレイヤーと協働して企画開発し、全世界の人々に発信していきます」

株式会社 産業革新機構 代表取締役社長 能見 公一

「クライマン氏は、世界のトップクラスの映画会社で様々な作品を手掛けた、豊富な知見を持っておられます。また、クライマン氏がグローバルのエンタテインメント業界と築いた堅牢なネットワークは、ANEW が日本の優れたクリエイターやコンテンツに世界への架け橋を提供する上で、極めて重要な鍵になるだろうと考えております。同氏のリーダーシップのもと、ANEW の日米のメンバーが一丸となり、本邦コンテンツのグローバル展開に成功することを確信しています。」

<株式会社 All Nippon Entertainment Works 概要>

本社所在地：東京都

支店所在地：アメリカ合衆国 カリフォルニア州 ロスアンゼルス（予定）

資本金：6 億円（資本準備金を含む。）

代表取締役 CEO（最高経営責任者）：サンフォード・R・クライマン

代表取締役 COO（最高執行責任者）：黒川裕介

株主及びその議決権付株式の保有比率：INCJ100%

事業内容：国内のコンテンツ（ストーリー／キャラクター等）の海外市場に向けた企画開発等

<Sanford R. Climan 氏の略歴>

1979 年	MGM スタジオ	劇場映画グループ製作部門執行幹部
1982 年	デイビッド・ガーバー・カンパニー	劇場映画・TV 製作部門上級幹部
1986 年	クリエイティブアーティストエージェンシー (CAA)	パートナー兼上級幹部
1995 年	ユニバーサルスタジオ	上級副社長兼全世界事業開発部門プレジデント
1999 年	エンタテインメント・メディア・ベンチャーズ	創業者及び社長
2007 年	3ality Digital	CEO

クライマン氏は世界のエンタテインメント・メディア業界における最も革新的なディールメーカーとして知られています。1999 年以降、クライマン氏自身の会社であるエンタテインメント・メディア・ベンチャーズ社を通じ、クライマン氏は、エンタテインメント・メディア業界における世界的大手企業のシニア・アドバイザーを務める一方で、デジタル・メディア領域の技術的発展の最前線にあるベンチャー企業を精力的に支援してきました。また、映画・TV 作品の企画開発に関しても、積極的な活動を展開しています。クライマン氏は 2012 年 2 月に株式会社 All Nippon Entertainment Works の CEO（最高経営責任者）（現任）に就任致しました。

なお、クライマン氏はアメリカン・シネマテーク、フルフィルメント・ファンド、イエール大学マネジメントスクールの Chief Executive Leadership Institute、カリフォルニア大学ロサンゼルス校演劇・映画・テレビ・スクールなどの役員等を務めています。この他、世界経済フォーラム（通称「ダボス会議」）においては、エンタテインメント・メディア業界のアドバイザーを務めています。

<黒川裕介氏の略歴>

1994 年	ソニー株式会社	
2003 年	UI エボリューション・ジャパン株式会社	COO(最高執行責任者)
2007 年	Nikkatsu Pictures International	President and COO
2009 年	クオインタムリープ株式会社	マネージング・ディレクター
2010 年	円谷プロダクション	取締役
2012 年	株式会社 All Nippon Entertainment Works	COO（最高執行責任者）（現任）

黒川氏は、複数の日本のエンタテインメント企業のマネジメントチームとして、日本のコンテンツをグローバル市場に向けて企画開発を行ってきた豊富な経験を保有しています。黒川氏は、ANEW が日米両国において活動し、日本コンテンツのグローバル市場への展開に成功するために必要な知見を有しております。

#

株式会社 産業革新機構（INCJ）について

INCJは、2009年7月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約2兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJは、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、同社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

INCJでは、これまでに合計 21 件・総額約 3,550 億円の投資決定を発表しました。当面、環境エネルギーにも関連するエレクトロニクスや IT の分野、バイオ・ライフサイエンス分野、水ビジネス等インフラ関連分野などにおいて、知財ファンドによる先端的な基礎技術の事業展開、ベンチ

ヤー企業等の事業拡大、技術等を核とした事業の再編・統合、海外企業の買収等による積極的な海外展開などに対してハンズオン投資を行ってまいります。

(本発表資料のお問い合わせ先)

株式会社 産業革新機構 企画調整室 檜山 望月 小林
東京都千代田区丸の内 1-6-5
電 話 : 03-5218-7200 (大代表)

(株式会社 All Nippon Entertainment Works に関するお問い合わせ先)

※新会社に関する質問やインタビュー申込等については、こちらにお願いします。

株式会社 All Nippon Entertainment Works
東京都千代田区丸の内 1-3-1
電 話 : 03-3216-7283 (大代表)
press@an-ew.com

Sanford R. Climan / サンフォード・R・クライマン

サンフォード・R・クライマン氏は、2012 年 2 月に株式会社 All Nippon Entertainment Works Inc. (通称「ANEW」)の CEO に就任した。ANEW は、日本国内のストーリー／キャラクター等のコンテンツをリメイクし、ハリウッドのプレイヤーと共同で企画開発を行い、グローバルなエンタテインメントコンテンツの成功事例を創出することを設立の目的としている。また、日本のエンタテインメント・メディア業界における多数の主要企業が、ANEW のコラボレーションパートナー企業として参画している。

クライマン氏は、1999 年にエンタテインメント・メディア・ベンチャーズ社 (EMV) を設立した。EMV 社は、エンタテインメント・メディア領域における投資、戦略等に関するコンサルティングサービスを提供しており、エンタテインメント・メディア業界への革新的技術の導入等を行ってきた。クライマン氏は、映画やテレビ製作の実績も豊富であり、代表作としては、エグゼクティブ・プロデューサーを務めた世界初の 3D 長編映画「U2 3D」、共同エグゼクティブ・プロデューサーを務めた CBS の連続ドラマシリーズ「Robbery Homicide Division」、プロデューサーを務めた「アビエーター」(実業家ハワード・ヒューズの半生を描き、監督マーティン・スコセッシ、主演レオナルド・デカプリオ、英国映画賞とゴールデン・グローブ賞を受賞)などが挙げられる。

EMV 社設立以前は、エンタテインメント・メディア業界における複数の企業のシニア・マネジメントを歴任した。2007 年から 2010 年は、3ality Digital 社の CEO として、3D でのデジタル・イメージ・キャプチャーや 3D によるデジタル放送、そして 3D 技術を活用した商品開発技術の開発および当該技術によるビジネスの立ち上げを行った。それによって、設立当初は無名であった 3ality Digital 社を、4 年間で 3D 業界屈指のグローバル市場におけるリーディングカンパニーにまで発展させることに成功した。

1995 年から 1997 年は、ユニバーサルスタジオにおいて、ワールドワイド・ビジネス・ディベロップメント部門の上級副社長を務めた。また、1986 年から 1995 年及び 1997 年から 1999 年は、クリエイティブアーティストエージェンシー (CAA) において、タレント・エージェントとして活

サンフォード (サンディ)・クライマン氏



躍する傍ら、シニア・マネジメントとして CAA 社全体の経営に関与し、また企業エージェント部門の創設も行った。

ユニバーサルスタジオでは、国際戦略と戦略マーケティングに加え、コンシューマープロダクツ、ホームビデオ、有料テレビ、新規メディア、スポンサーギフトという 5 つの事業部門を管掌した。CAA 社においては、12 年に渡り、ロバート・デ・ニーロ、ロバート・レッドフォード、ケヴィン・コスナー、ダニー・デヴィート、マイケル・マンなどのタレント・エージェントを務めた。更に、ソニーのコロンビアピクチャーズ買収、松下電器（当時）の MCA/ユニバーサル買収、コカ・コーラの新規宣伝戦略、クレディ・リヨネによる MGM 再編、そしてナイネックス、ベル・アトランティック、パシフィック・テレシスによる共同ベンチャーTele-TV の発足などの多数のプロジェクトにおいて、アドバイザーを務めた。

CAA 社入社以前は、エンタテインメント・メディア業界の多数の企業において活躍し、ライオンズゲート社長、ウェスコム・プロダクションズ（クロニクル・パブリッシングの子会社）社長、デイビッド・ガーバー・カンパニー（独立系テレビ制作会社大手）の製作担当バイス・プレジデントを歴任した。また、メトロ・ゴールドウィン・メイヤー社では、有料テレビと海外映画配給の監督を務め、映画製作にも携わった。

クライマン氏は、現在、複数の営利団体・非営利団体に役員として参加しており、具体的には、アメリカン・シネマテーク、フルフィルメント・ファンド、イエール大学マネジメントスクールの Chief Executive Leadership Institute、カリフォルニア大学ロサンゼルス校演劇・映画・テレビ・スクールなどの役員等を務めている。この他、アメリカ疾病予防管理センターの顧問委員会のメンバーや、毎年ダボス（スイス）にて開催される世界経済フォーラムでは、エンタテインメント・メディア業界のアドバイザーを 17 年間務めている。